



収録装置(写真中央)

牧尾ダム・東郷調整池地震観測設備納入

独立行政法人水資源機構愛知用水総合管理所様から牧尾ダム・東郷調整池地震観測設備工事が発注され、3月に納入しました。

愛知用水は、牧尾ダムなど木曾川上流域で開発された水を、岐阜県から名古屋市東部および知多半島一帯に用水(農水、上水、工水)として供給している重要な施設です。今回納入したのは、牧尾ダム、東郷調整池の堤体観測用設備として、地震発生時に観測した地震データを記録、表示するとともにデータを伝送するシステムです。

明星電気は、これからも地震観測機器、各種環境計測機器により、みなさまの安全安心な生活に貢献していきます。

(担当: 気象防災事業部)



発表会場



参加発表者

国際大気電気学会(ICAE)に参加

日本大気電気学会の賛助会員として、6月17日~22日に奈良の春日野国際フォーラムにて開催された「国際大気電気学会ICAE(International Conference) on Atmospheric Electricity)」に参加しました。

積乱雲が引き起こすとされるダウンバースト突風について、地上稠密気象観測網POTEKAであるが故に捉えられた複数の観測事例と、そのデータを利用した突風検知技術を紹介しました。気象学としての雷や積乱雲だけでなくその予兆現象をも研究対象とする本学会において、海外の研究者の方々から「観測結果は非常に希有で貴重な観測データである」との高い評価をいただきました。

当社は、これからもPOTEKAから得られる貴重な観測データを分析・活用し、みなさまの生活を守るための「突風予測システム」の実用化を目指し、当該分野の研究開発に邁進していきます。

(担当: 気象防災事業部)



市報ふじみ野 POTEKA掲載

各地でPOTEKA稼働中

埼玉県ふじみ野市では、1月に市役所本庁舎屋上に設置されたPOTEKAが運用されており、「市報ふじみ野」3月号でPOTEKAによって観測された気温、湿度、風向風速、雨量などの情報が、リアルタイムにwebサイトやスマートフォン専用アプリで確認できることが紹介されました。

また、島根県雲南市では、POTEKAが市内15箇所ですべて2017年7月から運用されていますが、2018年7月、POTEKAで観測したデータを、雲南市・飯南町事務組合運営のケーブルテレビのデータ放送で、リアルタイムに配信するサービスを開始したことが発表されました。

どこにでも設置でき、きめ細かく設置すれば正確な気象情報が、ピンポイントで入手できるPOTEKAの特性を生かしたサービスが各地で展開されています。

(担当: 気象防災事業部、中四国支店)

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により革新的な商品・サービスを創造し

安全・安心な社会の発展に貢献していきます。